

<人吉市（中原校区）／住民>

日 時：令和2年10月24日（土）10時00分～12時00分

会 場：人吉市中原コミュニティセンター

参加者：26名

【発言者①】

私は中林町の〇〇と申します。

まず、県のほうにお礼を言わなければならないのは、実は万江川が、雨期の前に5月の連休の時点で、私は堤防がちょっと崩壊状態になっていたものですから、急々にこの3名の〇〇も一緒ですが、中林下流の5町内の町内会長で、県のほうに5月25日に、振興局のほうに陳情にまいりました。

その以前に、朝のうちに県議のほうに電話をしまして、現場を見ていただきまして、早急に午後から5名で県のほうにお願いにあがったわけです。そのおかげで応急措置をやっていただきました。

6月の初めには終わりました。この雨期の前に終わって、本当によかったと思っています。

その竹を切っていただいた〇〇さんが、「あれは崩壊するばい。」ということで、私が眺めとったところが、「〇〇さんがここの工事をやられたんですか」って言ったら、「はい。この擁壁の下は空洞になっております。これは決壊するよ。」ということで教えていただきましたので、早急に行動を起こしたわけです。

そのおかげをもちまして、今度の雨季にはそれが持ちこたえたわけです。

しかしながら、その堤防があと1メートルもないくらいに水がきたわけです。

その部分を今度は少しかさ上げしていただきたいというふうに考えております。ひょっとすれば越えるかなということで、私は朝5時から町内の人たちに呼びかけて、堤防が危ないよということで、早く避難してくださいということで、民生委員さんと私とあと一人、私の後輩で消防員の〇〇さんという方が万江川の樋門係をしておるもんですから、逆流しましたら止めますということで、はい、止めていいですよということで、もう覚悟のうえで皆さんを避難するように呼び掛けたわけです。

安全なところに早く逃げてくださいということで。だから幸いに最後までその堤防が持ちこたえまして、本当に中林だけはよかったというふうに思っております。

私は肥薩線が、私の庭を通っておりますので、その庭から下の、下流のほうの下林地区を眺めていますと、今度は球磨川のほうから逆流が30分の間うわっと上がってきて、8時半ぐらいが一番ピークだったかなというふうに思いま

すが、あっという間に上がってまいりました。

そのおかげで私の部落も半分は浸水したということで、大変、本当に辛い思いをしたわけでございます。

私も平成4年から川辺川土地改良事業の委員として川辺川土地改良問題に携わってまいりましたが、その前は消防団等も長年やった関係で、協議会の役員もしたわけでございます。

この間、この三人のメンバーと一緒に消防も一緒に経験したわけでございますが、もちろんこの40年の水害から幾度となくこの下林地区温泉町は、何回となく浸水しておりました。私たちも1週間くらいずつ、後片付けに奉仕に、消防団として出た経験があります。

そういうことで、ダム反対、ダム賛成、それぞれの意見がありましたが、私は推進という立場から、ぜひともダムで防がんと、この水害は防げんだろうということで思っておりました。

しかし、意見を賛成、反対で飛び交わせてケンカをすることはなかったわけです。賛成派は静かにしておりました。

その当時はそのような社会風潮が、そうだったかなというふうに考えております。

遊水地にする案も当時からあったわけですが、錦町の優良水田があそこまで、あのあたりまでいくだろう、またあさぎりの一部あたりまで遊水地にした場合にはあがっていくだろうというふうな意見が当時からあったわけです。

まったく今度の水害は遊水地の状態であったわけです。

そういうことで、やはりこれはダムしかない、方法はないんじゃないかなというふうに現在私も考えております。

そしてまた、万江川の上流が、大変、今回も荒れております。私も途中まででしたが見にあがりましたが、山の谷々が全部土砂が流れてきております。

高速から見てもわかりますように肥後トンネルから手前は、ほとんど万江川の上流になるわけですが、ほとんどの山が全部谷が今増えておるのが見えます。来年がまた怖いわけです。

ぜひとも万江川の上流の堆積した土砂の片付けとか、堤防の決壊箇所の復旧とか、早急にお願いをしたいというふうに思いますので、どうかよろしく願います。

そしてまた、ダムを作って観光を呼び込んで、五木から人吉に観光に来ていただく。ダムを作って人吉の観光を復活するというような方法はどうかでしょうか。以上です。

【発言者②】

おはようございます。下林二区町内会〇〇と申します。よろしく申し上げます。

私もいろいろ考えておりますが、結論は、もう私は82歳になりますが、若いときからダムのことです。いろいろ意見も聞いておりますが、個人的に。まず、市房ダムの浚渫を何回されたのか、それが一番今でも知りたいところです。

なぜかといいますと、ご承知のとおり、田畑が住宅地になってしまって、受け皿がなくなって、洪水の水位が上がるのも、むべなるかなと思いますけれども、まず堤防を作った以上は、私はどっちつかずの意見ですけれども、浚渫をするならば賛成ですということ、もうずっと申し上げておりますが、うちの近くに万江川があります。小さい河川ですが、そこに以前から田んぼに取水するために堰を作りまして、そこも見ていただければわかりますが、土砂が溜まってしまってもう大変困っております。ダムといえばその点です。

それから避難等の放送につきましては、町内に建っておりますが、風向きとか雨とか、どこでもそうですけれども、雨とか風とかで、ちょっと一部分だけ聞こえて、何を言ってるか全然わからないときがあります。

また、普段はいろいろあっておりますが、緊急の場合が多いもんで、改めてカーテンを開けたり、ガラスを開けたりすることがないもんですから、特に今回は今までなかった降雨量だったもんですから、まさか前回のときの水位までは来ないだろうという安心感もありまして、私自身もそのうちの一人ですけれども、ああいう放送設備、各家庭に、上球磨のほうにはあるようですけれども、一軒一軒ですね。あれがあれば非常に助かると思います。

時間の制約もありますから、これだけとしますけれども、まずダムについては浚渫をしてもらえましたら賛成をいたします。

それと放送設備、個々の家にできるだけ早めに配置してもらえればありがたいなと思います。以上です。よろしく申し上げます。

【発言者③】

私は、まちづくりのお願いということで、少し今回の趣旨と若干違うかもわかりませんが、私は140戸の小さい集落の町内の〇〇と申します。

今回の7.4災害によりまして、140戸の全てが浸水高が1.8メートル以上の全壊指定を受けております。そういったなかで、現在町内の皆様方は、大半の人が解体待ちということで、非常に来年以降の、非常に異常気象のなかで、また来年もこういう線状降水帯が発生するんじゃないかというようなことで、非常に懸念をされております。

そういったなかで、私の集落の精神的な支柱でございます室町時代の後期からの相良三十三観音堂と、それからその接待所がございます。この復興をなくし

て、私の町の集落の復興はございません。そういうことで、来年の秋の開帳に向けて、全力を挙げて取り組んでおるところでございます。

現在その観音様は山江村の歴史資料館にお預けいたしておりますけれども、一日も早くお迎えをいたしまして、観音様の慈愛に満ちた明るい、笑顔の絶えない、そういった町内の日常を取り戻したいと思って頑張っております。

そういうなかで、ぜひ県のご支援をお願いをしたいと思って今日は参っております。どうぞよろしく願いをいたします。

ちょっと趣旨に、若干違うかもわかりませんが、ぜひともお願いをしたいと思います。

【発言者④】

中神町城本町内の〇〇といたします。

知事におかれましては、今回の豪雨災害から復旧復興に向けて、迅速に行動いただいていることに対しまして、敬意と感謝を表したいと思います。

早速でありますけれども、これまでに球磨川流域市町村長様を対象に、2回の豪雨検証委員会が実施されておられるようですけれども、私はその内容をホームページで拝見させていただきました。

このようにプリントアウトしたんですけれど、中身も今日の資料と大体似たり寄ったりですけれども、この検証委員会は相当な資料の量です。読むのに大変苦労しました。理解するまでにですね。

そこで議事録についてもコピーさせてもらって、しっかり読ませてもらったんですけれども、そこで感じたのは、こんな資料を説明して、1時間半程度で終わっているみたいですが、本当に理解することができたのか、市町村長さんがですね。非常に掘り下げての検証ができているのか、非常に私は不安に駆られています。特に、今日の資料にもありますが、今回は、市房ダムの件についても、治水協定による貯水量を低下させる事前放流はできなかった。ただし、洪水調整容量の範囲内で貯水を下げる予備放流を実施し、洪水調節容量の確保を行ったと。そのことで、下流の洪水氾濫量の低減に寄与したというふうに説明をされているようですけれども、そこで、川辺川流域でも水害が、被害が発生しており、また合流点より下流域での被害が大きいと、川辺川からの流入が今回の被害拡大原因の一部ではないか。そこから川辺川ダム建設、仮説とされておりますけれども、建設への話も出てきているようです。

私はそのことについては、賛成とか、反対ではなくて、本当に慎重に話は進めてもらいたいと思います。

まずは市房ダムの管理のあり方の検証でないでしょうか。基準降雨量を越える雨量の予測が発表された時点で、既にダムへの流入量が大きく、貯水を低下で

きる状況になかったとのことでありますが、なぜ、どのような状況からそんな状況になったのか。

また、これまでの経緯から、ダムが枯渇をするということで、よく新聞に載ってましたが、ダムの枯渇を心配、あるいは恐れて貯め込んでしまったのではないか、そのことで事前放流に戸惑いがあったのではないか、これはダム管理人さんを責めるわけでもないんですけれども、そういったことはなかったのか。もしそうでなければ、このような大雨にも関わらずにそういった危機意識、そういったものはなかったのか、この問題は私は非常に大きいと思います。

多くの市民は、私も含めまして、市房ダムの放流が一因ではないかとの疑問を持っておられる方も非常に多いんじゃないかというふうに思っております。

そういうことで、やはりこの資料なんかにも隠さずに納得いく説明を市民にしていくことも大事なというふうに思います。

そこで、私の家は道路よりもちょっと高いところで、左側に、万江川、そして真正面に球磨川が見える位置にあります。

当日は、私は高齢者を避難させたあと、自宅から万江川、球磨川の状況を見ていました。ちょうど資料にあります放流時間帯頃に合致しますが、一気に増水し、堤防を越えて、万江川堤防、球磨川堤防を越えて氾濫してきました。

ずっと越える状況から家から見ていました。

なんで避難せんかったかということですが、私の家は前が水田地帯ありますし、道路があって、その上にあるものですから避難しないといけなかったんですけれども、もうその時点にはできなかったということで、水田を、水が堤防を越えて流れてくる。そしてみるみるうちに増えていくということを見てました。

そしてそのあと写真を撮りましたけれども、そのあと引くときには一気に引いていったと、この表にもありますように、ちょうど時間帯が一致する。放流して、何時間後に増えていって、みるみる増えていく。2、3メートル増えて、そして引いていったというような状況でございます。

そういったことが非常に引かかる部分が大きいのです。

あと要望になりますが、やはり今回のような大水害がまた来年の雨期に発生するかもしれません。川辺川ダムを建設するとなつて、何年先のことはわかりません。まずは私たち市民が安心して暮らせるためには、ダムによらない治水対策の継続と、早期実施に向けた、そういったことを取り組んでもらいたいと思います。

それではすぐできることはなんだろうかと私考えてみますと、昨日、新聞に載ってましたが、やはり球磨川底の掘削、特に堆積した砂利や泥の除去と河川内樹木の除去ではないでしょうか。

特に市内中心部の人吉城跡付近です。相当な石が溜まって、泥があって、高校生が全国目指してカヌーの練習もできない。川底が1メートルもない。

やはり今度の水害でも、球磨川には相当な砂利が溜まってる。まずできること、球磨川の底の掘削をお願いしたい。

それから次に、引堤計画もこの資料にあります。早期着工してもらいたいと思います。特に私、中神地区の前の田を引堤されるという計画が、会議にも行きましたけれども、やはりこういった対策を早くしてもらいたいと思います。

それから3点目になりますが、今回の水害で多くの橋梁が流出しておりますけれども、これも橋脚の関係や流木が橋桁に引っかかり、小さなダム形成をなして水の流れを止め、そのことによって流域に反映された一因ではないかと危惧しております。

それで橋脚、橋を作られた場合には橋脚を少なくして、さらに橋を高くする。強度な橋への検討をお願いしたい。

やはり小さなダム、橋を少し高くして、橋脚を少なくするというのであれば、そこに流木が引っかかって、小さなダムとして周りに氾濫させるということも防げるのではないかと考えております。

これは橋のことについては、すぐできることではありませんけれども、やはり今後、流れた橋を改修する、あるいは作られるときにも、こういった思いをもって川の水の流れを少しでもよくするために、そういった検討課題としていただければ幸いと思います。

長くなりましたけれども、私たちの球磨川は三大急流の一つでもありまして、有名な川です。親しめる、安心な球磨川を目指して、スピード感をもって実施してもらいたいと思います。

ちょっと長くなりましたけれども、終わります。よろしく願いいたします。ありがとうございました。

【発言者⑤】

今日知事が来てもらいました部落なんです。大柿町の〇〇と申します。今回の水害におきましては、私は渡から八代間のこの流れが悪くなったと私は思うんです。この水引きが、とにかくあんまりよくなかったということを考えざるえんとですね。

それで一番、今度の川辺川ダム建設の話でございますが、川辺川ダム造るよりか下の瀬戸石ダムを撤去していただきたいと、逆の発想で、私は申したいと思いません。

なぜかと申しますと、球磨村の神瀬からかなり水位があがっています。瀬戸石ダムが閉めているだけで。とにかく流れをよくすると。またそれに、今度は橋脚

もこの近辺を見ましても、神瀬の橋までに西瀬橋から7つ流れております。それと永久橋がそのなかで4つは含まれておりますが、今度は鉄骨のアーチ型の橋が3つ流れております。これでも大分、これで大分、水引きが悪くなったのではないかということを考えるわけです。

何分にも流れをよくするというのでも、国土交通省にいいますと、八代がものすごく被害が重いと、流れがをよくすれば。とって、人吉の盆地に犠牲になっていただきたいというようなことを、私どもはどうも納得できません。

これにしましては、とにかく、もう下の、溝でいいますと、渡から下はU字溝にすれば、本当にスーッと流れて、引きがよくなると、球磨盆地には水が貯まらないということで、水引きを一番よくしていただきたい。

川辺川ダムはもう反対でございます。

もうとにかく、瀬戸石ダムは撤去していただきたい。これを願うものでございます。大柿としましては、私の前の堤防が越水で、3メートルぐらひは越えております。かなりの量です。ちょうど大柿と渡でちょうどS字カーブになっております。水系が。

S字カーブになっていますが、私たちの部落は流れに乗ってるんです。ちょうど町内が流れに乗ってるんですね。治水で貯まっとるだけじゃなくて、流れに乗っています。それで、ものすごくかなり甚大な被害が出とります。

ほんでもう何分にも流れをよくしてもらおうよう、私はお願いしたいと思いません。終わります。

【発言者⑥】

私は馬場町内の〇〇と申します。

実は私も昭和40年の7月水害、今から55年前になりますけれども、小学生の時代でございましたけれども、やはり昨日のようによく記憶をしているところでございます。

私が住んでいるところというのは、現在は道路を挟みまして、その前がすぐ球磨川ということで、もう私、球磨川に対しまして、生活空間の一部になっているところに住んでおります。

資料のほうにも記載をされておりますが、当時、道路よりも30センチぐらひ下のほうまで40年の水害は水位が上昇してまいりました。それを覚えておりますので、道路より1メートルほど、家を建て替えるときに盛土したわけでございます。

私といたしましては、40年という水害がもうマックスじゃないかなということで安心をしていたところでございますが、今回はそれを大幅に超える水位が発生したということで、わが家もかさ上げ1メートルプラスの床上1メートル

ルということで、ちょうど前面道路が周辺の堤防高と同じような位置にございますので、今回は堤防を2メートル以上越した水量が流れてきているんじゃないかなと、本当に怖かった思いでございます。

現在球磨川というのが、計画高水流量が4,000トンというようなことで計画をされて、それに基づいて堤防の築堤、引堤等が現在までなされてきておりますけれども、この4,000トンという数字と同程度の水というのが、やはり57年、それから平成に入りまして5年、7年、16年、17年ですか、これぐらいあがってきておりますが、幸いに球磨川におきましては余裕高1.2メートルというのは確保されておりますので、これによって大きな災害は発生はしてないというふうに思っております。

ただやはり、一部決壊されますと、内水のほうに水が一気に流れ込んできて、大きな被害が発生したんじゃないかなろうかというふうに思っておりますけれども、そのなかでもやはり内水の排除というのができていなかったために、やはり浸水被害がたくさんその期間に起きております。

やはり、まず堤防で流量調整することの必要性もありますけれども、まずは内水排除、こちらのほうもぜひ検討に入れていただきたいと思っております。

今回この雨というのは、人吉球磨盆地に梅雨前線が停滞いたしまして、集中的に30ミリ以上の豪雨が8時間ほど降ったというようなデータが出ておりますけれども、確かに普段でも夕立あたりで100ミリあたりの雨が1時間ほど降りますと、側溝の排水能力が失われて、それで道路が冠水し、住宅の床下、床上というのが最近、全国放送を見ておりますとよく流れております。

そういう状態のなかで、今回人吉球磨のこのすり鉢状のなかで、これだけの雨が降りますと、水位があがってくるのは当たり前でございます。水が高いところから低いところに流れると。そこでもう球磨川自体が満水状態になっているときに、中小河川に、即、この水が流量が流れ込みますと、急激な水位の上昇があるはずです。

今回、それが皆さん、水位があがってくるのが早かったというのは、これが一番の原因だと思っております。

そのなかでそういうような急激な水位の上昇を防ぐということを考えてみますと、どうしても水量の調整というのが必要になってくるんじゃないかなと思っております。

20年以降にダム建設が中止されまして、ダムによらない治水対策事業が進められてきておりますけれども、私たちの地域におきましても、資料についておりますが、流木の撤去から、河床の掘削、そして今年に入りまして、国のほうから、国土交通省のほうから地権者に対する引堤の事業計画がございましたので、説明会をしたいというお話もあったときに、こういう災害が発生をしたところ

でございます。

この球磨川河川の4,000トンを安全に流すためには、まず、現在まで進めていただいた、河床の掘削、引堤等はまだ早急にやはり実施をしていただくことと、やはり今回の川辺川ダムの方で水量の調整をすることによって、一時的な水位が上昇するのを防ぐということはやはり大切になってくるんじゃないかなと思っております。

今回犠牲になられた方々も川のすぐ側だったら川を見ながら避難ということもできませんが、川から100メートルも200メートルも離れたなかで犠牲になられた方もいらっしゃいます。これは自分たちの場所に水が溢れてくるということは絶対的にないという意識があったから、やはり避難すること自体が遅れてしまって犠牲になられたということじゃないかなと思っております。

そういうようなことで、やはり5年から30年確率の雨につきましては、やはり4,000トンを安全に流すための引堤、それから河床掘削。100年に一度以上の今回発生した水害につきましては、やはり物理的に絶対、引堤、築堤、掘削だけでは対応できませんので、ぜひダムの建設も考えていただきたいと。

ダム建設につきましては、多目的ダムが理想ではございますけれども、今回は利水と治水がメインになってくるかと思っておりますけれども、できれば治水を優先にしたダム建設のほうを検討していただけないでしょうか、ということで私の要望に代えさせていただきます。以上でございます。

【発言者⑦】

瓜生田町内会の〇〇と申します。私の家は川のすぐ側にありまして、今回の水害で完全に全壊いたしまして、避難生活を送っており、家なき子の状態であります。私の町内は64世帯なんですけれども、そのうちの29世帯がり災いたしまして避難生活を送っております。

ダム建設や利水も大切ですが、まず第一にり災された方々の生活支援をお願いしたいと思います。

今、コロナ禍で、国も県も予算がないと思っておりますけれども、このあいだの福島みたいに災害復興のお金を集めまして、まず避難された方々の生活支援、それから仮設住宅も2年間ということで期限をきっておりますけれども、それも延長してとにかく生活支援を第一にお願いしたいと思います。以上です。

【発言者⑧】

西門町内会の〇〇と申します。川辺川ダムが存在した場合は6割減少ということになっておりますけれども、まずは今、被害、河川が壊れているところを早急に復旧してもらって、あとは掘削ですか。それともう一つは山の奥に行くとか伐採

が非常に多く、目視できないところがいっぱいあります。そこで森林を植林することを考えていただければいいかなと思います。以上です。

【発言者⑨】

〇〇と申します。当然、住宅の復旧復興が一番急がれると思いますけれども、人吉は今まで観光でもってきた街だと思います。そのなかには鮎もありますし、球磨川もあります。併せて、100年続いているJR、これが廃線になったらどうなのか。JRとの協議、併せて早期の復旧を望みたいと思います。

それから被災したこちらの田畑、来年ぐらいから早速田植えできるように早急に取り掛かってもらいたいと思います。以上です。

【発言者⑩】

私のほうは作文にまとめて来ましたので読ませていただきます。

まず12年間に及んで非ダム案を検討されてきました。しかし、出来上がった検討案というのは、昭和40年災害、このときの復旧計画のときに既にあらゆる比較を検討されて出されておったと思います。

そのときにもう治水安全度は完全に満たされないという結論が出ていたと思います。いきなりダムを作ることになったはずではないと考えます。そうしているなかで今回の大規模水害が発生してしまった。起こった水害の検証というのは必要でしょうけれども、大規模水害が再び起こったことは新しい現実でございます。

球磨川と川辺川、これは誰にとっても宝でございます。その川も穏やかな川の流れのときにはきれいな水の恩恵を受けたり、あるいはいろいろな魚は私たちの食料になったり、プラス的環境をもたらしてるでしょう。

しかし、一転、大雨で増水しますと、牙をむけば地域を破壊するし、危険だ、近寄るなど誰もが敬遠するマイナス的環境になります。

地域の大事な資源だからこそ、そこに住むために上手な使い分けをしてきているわけでございます。人間も同じでございます。穏やかなときは笑顔です。しかし虫の居場所が悪ければ怒りの顔でございます。

手のひらが拳に変わりますし、我々みたいな二元相対の世界に生きてる限り、人間がどういう立場にいるかどうかで、良いとか悪いかを決めつけておると思います。便利だ不便だというのも同じでしょう。私は人間のいきすぎた行為が環境破壊を進めているのは事実だと思っております。

今回のような豪雨もその影響であると考えてます。かといって経済活動が悪だ、開発が悪だ、文明の利器が悪だと言っても元には戻りません。誰もが環境に良くて安心して安全に暮らせる整備の仕方があれば一番良いことだと思ってお

ります。私たちは生活するなかで何かを得ようとするならば何かを失う。これは当然のことでございます。

食料を作れない人はお金を出さなければならない。買わなければならない。企業は人を使うためには賃金を払わざるを得ない。車が欲しい人はお金を出して買うでしょう。じゃ治水に安全安心を求めるならば、環境破壊はある程度伴うと思います。

代替案として検討された非ダム案も環境破壊は起こらないとはいえません。被災した地域の皆さん、地域それぞれで復旧してほしい内容、考え方というのは、違ってくるのは当然だと思います。

だから大変なんです。このような地域の対立を生むような民意を探らなくても、私は地域市町村の代表である市町村長さんたちが結論を出してるんだと思います。我々はそれを信じるしかありません。以上でございます。

【発言者⑪】

上野町の〇〇です。私は、川の掘削が一番大事じゃないかと思っています。今、市房ダムの土砂がどれくらい溜まってるのが見当が付きません。

水をあそこで3万トン例えば溜めるというならば、1万トンぐらいの砂利が埋まっていると見ているところですが、球磨川も一緒です。川砂がいっぱい溜まって、この3ページ、4ページの地図のように、球磨川にこういう蓄積したところがいっぱいあります。これを除去していただければ、もう少し水が速く流れて、人吉の街は浸からなかったのではないかと素人ながら思っています。

掘削を一番にさせていただいて、り災者の人の住宅をなるべく早く確保していただき、それから避難所をもう少し考えていただきたいと思います。

私は、妹が渡にいます。少し山際の高いところで、避難所が渡小学校とか千寿園になっていたわけです。そのために私は夜中に妹に、お前は絶対に避難所に行くなということを伝えたわけです。必ず渡も全部浸かるだろうという感じがしたものですから、夜中にご主人が足が不自由で動けないものですから、迎えに6人も7人も来てから、からってでも連れていきますよと言ってくれたんですけども、気の毒だったので断って、自分は自分の家にいなさいというところでした。

だから避難所ももう少しよく考えていただいたらいいんじゃないかなと思っています。地区、地区に少しでも高台に作っていただかないと、私は上野町内で上原田地区に近いところです。ところが、中原小学校のほうが避難所になっています。途中がどうしても大雨のときには通行不順になるものですから、そこを考えていただきたいと思います。以上です。

【発言者⑫】

私、嵯峨里町内といまして53戸の町内の〇〇をやってますけれども、私のところは高台で、地形上そういう水の災害はまずないだろうというような場所なんですけれども、私の娘が球磨川の側の相良町というところで、その旦那の実家も柳瀬橋というところの際の薩摩瀬というところにおりましたので、相変わらずそこもまた被災しました。

それで一応私のところに避難してきましたけれども、やはり今一番大変なのは、私は建築をやってますので、その復旧のほうに携わって、娘の家とか、今三軒目ぐらいを復興のほうでやっていますけれども、避難生活するのが一番大変なんです。

それで私のところに娘たちは約2か月間ぐらいは避難してましたけれども、それで市の市営住宅の避難所が抽選で当たりまして、そこに行きましたけれども、今度はそこが、人吉市を責めるわけじゃないですけれども、掃除とか全然やってないんです。空いたところを。だから風呂とかトイレとかものすごく掃除ができてないものですから、使いにくいということで、子どもたちも全然そこを使用しないで、風呂は温泉に行ってます。

だから避難所の確保をしてもらうのはいいんですけれども、掃除とかやはり一応きれいに掃除した対応というのをやってもらいたいと。市だけの問題ではなくて、これはやはり県とかもやっていただきたいなというふうに思います。

今も私がやってるところは2階のほうで避難生活をやってもらっていますけれども、食事、弁当をもらって、炊事ができないものですからもらってやってみますけれども、いろいろ弁当を作るところも仕事ですので、一応いろいろメニューを変えたりという方向をやってもらいたいというのが、小さなことですが、そこら辺の指導を県とか市とかできないものでしょうかということです。以上です。よろしくお願いします。

【発言者⑬】

おはようございます。私は上原田の牛塚というところにおります。家は高台ですけれども、24戸でございます。

主に農業をやっておりますものですから、一応、品目は葉タバコとか稲とか栽培しております。

球磨川の支流の万江川が、中流のところですが、先ほどいわれました橋に流木がかかりまして、氾濫しまして、稲やら葉タバコが一部泥水に浸かりまして大変なところもありました。中神地区はご存知かと思えますけれども、壊滅的な葉タバコの地帯だったものですから、同じ仲間が大分苦労しました。

前置きが長くなりましたけれども、こういう自然災害は私たち農業はもうつ

きものと思っているものですから、慣れっこにはなっていましたが、今回はこういう大災害になるのは初めて経験しました。

結論から申しますと、今回65名の方が亡くなられておりますので、先ほどいろいろ意見も出ておりますけれども、ダムは私は賛成ですけれども、対策を含めて、早急にいろいろな対策をとって、早く、来年起こるかもしれませんので、こういう早急な対策をよろしく願います。以上です。

【発言者⑭】

私も高台のほうに住んでおまして、今度の水害には遭わなくて済んだんですけども、私が思うには昭和40年の水害のとき、市房ダムの放流が原因だという人もかなりいらっちゃって、どうしてもダムに対する不信感があります。

今度の水害のときも市房ダムが30分前に放流を止めたというテロップがテレビで流れましたですけども、あれがもし放流があったとしたら、想像もしたくないほどの被害が出たと思います。

今回、川辺川ダムが、それより大きいダムを作ることになれば、そういうときにまた同じ緊急放流とかなんとかあった場合、どうしてもダムに対する懸念というのが払拭されないんです。以前、荒瀬ダムを撤去されたときに、市房ダムよりももっと小さいあのダムですら、費用とか時間があんなにかかったのに、一度作ったらダムを壊すということが相当な時間と費用がかかるんじゃないかなと思います。どうしてもダムに対する懸念が拭えない。以上です。

【発言者⑮】

上原田地区の尾曲の〇〇といいます。

幸いにも上原田地区は被害はなかったんですけども、河川の氾濫が、あちこちで氾濫しまして、ちょっと上流部に行きますと道路が寸断されている状態です。

主な原因は流木による道への氾濫です。それが主なものであって、やはり山林の伐採とかそのあとの処理が確実にやられてなくて、あそこにはなんか木がいっぱい溜まってますよというそういう噂も聞いてました。

それがやはり大雨が降ると、一気に流れ出して川をふさいで、流域の道路とか田んぼとかそういうところまで氾濫してきますので、やはり山林伐採後の処理、そういうのを確実に行って管理にも力を入れてほしいと思っています。以上です。

【発言者⑯】

私、人吉市の消防団の〇〇といます。

私たち消防団は7月4日の午前4時から巡回広報活動等をしておりました。そのなかで一番思ったのは防災無線で連絡を入れておるんですが、やはりあの雨でしかも4時とか5時とかという時間帯というのはどこも家は窓は閉めてるし、ほとんど聞こえてないと思います。

私たちも積載車の中から、ああ、なんか聞こえるなというところがあって、窓を開けて、そのときは人吉市の松岡市長が「逃げろ」と大きい声で言ったのを私たちは聞こえたんですが、実際、みんなには聞こえてないんじゃないかなというところがあります。

特に、すぐすぐに逃げてほしい川の近くのところは、最低限でも各家庭に防災無線等をつけてもらいたい。私たちも一軒一軒避難してくださいと全軒行くことはまず不可能ですので、そういった点を検討していただきたいなと思います。

この豪雨はまた来年あるかもしれませんし、可能性もかなり高いです。なのでダムとかいろいろ方法あると思いますが、ダムはやはり相当時間もかかるし、とにかく早い治水、掘削なりそちらのほうをまず始めていただきたいと思います。

それから私個人の意見ですが、やはり球磨川は観光です。ラフティングだったり球磨川下りだったり、そういうところで人吉に来てもらう。

というところで、特にコロナもありまして、コロナのあとのこの豪雨なので、飲食店等もかなり厳しいと思いますし、その辺のところもいろいろと検討していただければなと思います。以上です。

【発言者⑰】

地元消防団3分団2部の〇〇です。昨今の異常気象でこういう大雨がまた来年起こるかもしれません。早急に河川の掘削等を行なっていただきたいと思います。

あと私が管轄します上原田町、山つきで、山の下に家がたくさんあるところで。併せて崖崩れ等の対策もお願いできたらと思います。以上です。

【発言者⑱】

地元消防団第3分団の〇〇です。私が思うのは先ほど〇〇さんも言われましたが、雨の中、防災無線をやったとしてもあまり聞こえませんでした。

消防団活動で積載車に乗って一応避難指示をしたんですけども、聞こえてなかったと思います。やはり、堤防近くのところには防災無線一戸一戸あったほうがいいんじゃないかなと私は思っています。

あと自分の意見なんですけれども、今回町内会長さんたちが、公民館を利用し

て、各家族から、被災されたところからゴミが出るわけですが、それを町内会長さんたちが公民館の空き地に捨ててくださいとか、いろいろやってもらったんです。それをやった時点で私が思うのは、ゴミとかグラウンドとか広い空き地を見つけてもらって、そこにばーっとやってもらったりとかしたほうがいいんじゃないかなとは思いました。

あと、また来年、またいつ何時あるかわかりませんが、絶対ないとは言えないと思います。だから、そこはちょっと早急じゃないですけども、真剣に考えていただいてやっていただけたら、私はいいと思っています。以上です。

【発言者⑱】

私、本年度、中原小学校PTAの〇〇と申します。本日はよろしく願いいたします。

まず、我々のような若輩までこのようなご意見ご提案をお聴きする会というものに呼んでいただきまして本当にありがとうございます。

私、今50歳です。私が生まれる前の水害、生まれる前に決まったダムというものの白黒が未だについていない、ということで、この場にいさせていただいております。

正直、今回の水害を経験しましたが、幼い頃には経験しておりませんでしたので、これまで全くダムに関する意見というものはそれほど深く持たずに生きてきました。

そして、失礼な話をさせていただきますが、ここにいらっしゃる皆様のご存命のうちに、白黒が着くともとても思えません。

ずっとこのまま停滞したままを続けていくのだろうかという疑問もございます。であるならば、どこかで一度、作るなら作る、作らないんだったら作らないという決定を住民投票であるなり、日本は民主主義国家でありますので、そういったかたちで決定した上で先に進むことは近いうちにできないのだろうかと思っております。

実際、中原小学校、児童が46名被災しております。そのなかで1年生、まだコロナのせいで学校にもろくに通わずに、1か月2か月しか背負ってなかったランドセルを失った子がいます。

それまでずっと使ってきた学用品、気に入っていたお洋服、全てを失った子どもたち、そして親御さんにいたっては家も失って、仕事場も失って、収入の当てもなく、子どもたちのためにそういったものを揃えるような手立てもない。生活的には暗い未来しかないとおっしゃる皆様も多くいらっしゃいます。

その方々を前に50年前の話を未だに続けているのもどうかかと、正直、私は思っております。ですが、今先輩方がおっしゃってくださったお話、全てどれも

がごもつともだと私も思います。反対意見についてもごもつともであるし、賛成意見についてもごもつともであると思います。であるならばどこかで一度、総意をまとめて決めて、そこから新たなスタートをきってもおかしくないのではないだろうかと思えます。

でなければ、今、本当に苦しんでいらっしゃる方々が、納得ができようもないのではないだろうかと思えます。

実際もう仕事をしたくとも職場も水害でなくなってしまった。自分は我が家は被災していなくてもやはり勤務先がなくなってしまった。これからどんどん人吉から人が消えていくのではないだろうかと思っております。

この問題を我が子たちの世代には残したくないなと正直な気持ちでおりますので、どうか早い対応というよりは、明るい未来のための話し合いができる場になっていただきたいと思っております。以上です。

【発言者⑳】

〇〇でございます。知事におかれましては175万の県民の安全安心のために、日夜ご努力いただいておりますことに厚く敬意と感謝を申し上げます。ありがとうございます。

今回65名の方が犠牲になっていらっしゃいますが、社会福祉協議会といたしましては、ご存知のとおり国も県も市も高齢者も一人になっても住み慣れた我が家で、わが村で、わが町内で生活していただきたい、最後までそうしていただきたいというのが、国の方針として取り組んでおるわけでございますけれども、こういう非常事態になりますと、なかなか高齢者には連絡がうまく行き届かなかったり、犠牲者になられた方も出ていらっしゃるんじゃないかと私は思っているところであります。

今後こういう高齢者の一人家族、あるいは二人で住んでいらっしゃるようなところにも、徹底してこういう緊急事態の連絡網がきちっと徹底するような施策を、市町村も交えて確立をしていただきたいという要望を前もってお願いいたしておきたいと思えます。

今後ますます高齢化が進みますと、こういう非常事態のときに、いかに速やかに避難したり、あるいはそういうことに対応できるような、地域の体制が整っているかどうかというようなことも検証していただきたいというようなことを一点はお願いしておきたいと思えます。

それからダムにつきましては、写真を知事さんに見せていただきたいということでお持ちしているんですけれども、50年前の1959年の市房ダム放水によりまして水害が起きたわけでございます。

この1枚目の写真は、この下に、橋のたもとに、住民が住んでいたわけです。水害前は。そして小さくピアが見えますけれども、ここは吊り橋がかかっておりまして、そこを歩いて私たちは学校に通っておりました。そのピアのたもとに住民が住んで生活をしておったわけです。

そしたら1959年の水害のときにここ以上に水がきまして、次の赤いアーチ式の橋の建設をしていただきました。2番目の写真です。

そして、これを今度、何メートル以上にも水が超えまして、決壊を一部しております。こういう状態のなかで、それもまた球磨川の改修もしていただいておりますし、また堤防もかさ上げしていただきましたけれども、これもまた対応できない、治水はできなかったということです。

私たちの集落も60戸近く全員全壊状態の被害をこうむっているわけがございますけれども、この水を止めますには、やはり私としたら市房ダムの多目的ダムというのが非常に（聞き取れず）ではないかと思っております。常時、いつもの状態で水を溜めないで流しておいていただくと。利水に必要なから水を貯めなければいけないということであるかと思いますが、常に普通の水の流れ状態に保っておいていただく、そして瞬時にこういう1時間に100ミリとか降った場合にはそこで止める。そういう状態であれば、川辺川ダムも必要じゃないかなと私は思います。

瞬時に水を貯める開閉式のダムを考えていただいて、瞬時に球磨川であふれるような雨が降った場合には、そこを止めて、水を一時貯めるという状態であれば、皆さんも納得されるのではないかと思います。今までですと利水とか発電とかあるものですから、ダムを空っぽにできない。ここに非常に大きい問題が潜んでいるのではないかと私個人的には思っているわけがございます。

だからここに水を一時止める治水の、専用のダムを建設していただくことが、非常にためになるのではないかと思います。

今、利水だから高台の方たちはダムを造って水を引いていただくというようお願いが出ているようでございますけれども、それはまた別問題であって、それはポンプアップをしたり、いろんな方法があると思います。そういう農業用水にする利水の件は、ダムを使わない水でカバーしていただいて、今度水害で被災された方は、ほとんどがダムは要らないと思っていられる方が大半だと思います。だからダムを造るのならば、水を一時止めるだけの開閉式のダムを造っていただいて、瞬時に球磨川があふれるような水が降った場合は、そこで一時止めると。そしてそれを自然に流していただくというようなダムになっていただいたら非常に助かるのではないかなと私は思っておりますので、どうぞご検討いただきたいと思っております。よろしくお願いたします。以上でございます。

【発言者⑳】

〇〇と言います。よろしく申し上げます。本当に、最初からうかがっていて、皆さんの歴史、それから球磨川の流域に住んでらっしゃるその町内に対する責任、その積み重ねのなかでこの場があって、その場に自分がいさせてもらっていることを感謝させていただきます。

自分は嫁さんの自宅が七日町にありまして、そこに東京のほうから10年前に引っ越してきました。仕事としましては自然のガイド、23年前から北海道から九州まで各地でさせていただいて、球磨川のほうではその恩恵で観光をメインに仕事をさせていただいております。

その球磨川、7月の3日まで、ツアーでお客様と楽しませていただいて、その前日はもう既に危ないということはわかっていましたので、お客さんにも早く帰っていただくように申し上げて、そうやって自分のほうの町内も含めて準備をさせていただきました。

そのなかで、ようやく川に出るといって、自分が常にスタッフとして、お客様と触れ合うということで、川に出させていただいているなかで、先週ようやく人吉高校カヌー部の方々と一緒に木山の淵、川の調査、安全管理、そこに対して初めて出してもらって、川の川底、それが今どれだけ状況が変わっているか、そして異物が混入された状態、浅くなった状態に、川があるかというのを改めて自分の目で確認してまいりました。

今後、球磨川流域で、皆様が少しでも安心して来年を迎えるためにも、その流域でお仕事をされている方、住まわれている方々のためにも、土砂の堆積、あるいは堰となってしまう可能性のある異物、流木、そういったものの撤去をすることによって、それを早く活動していただくことによって、住んでらっしゃる方々の目に留まることによって、少しでも自分たちの安全が前に進んでいるのだなという実感、あやふやではない実感が今必要ではないかなと思ひまして、ちょっとこの場に意見を述べさせていただきました。ありがとうございます。

【発言者㉑】

私、退職前の4年間は、この中原地区の〇〇を務めさせていただいたところですが、そのなかでいろいろな方々の意見を聞いてきました。先ほども話が出ていたとおり、球磨川で被災された方がありまして、ダムで緊急放流で被害がひどかったというのがずっと話は入ってございました。

そういったことを考えたときに、この間の7月4日に、もし8時半に市房ダムが緊急放流をしますという情報があったのですけれども、もしあのとき本当

に実際放流があったらどうなったのだろうか。相当な被害がまだ出たのではないかなというふうに思ったところです。

幸い、あのときに緊急放流がなかったので、本当によかったなと思っておりますが、もし想定外の大雨が急激に降るということで、ここにいろいろ書いてあるんですけれども、これ以上の被害があったときに、雨量があったときに、もし川辺川ダムがあったら、逆に市房ダムと川辺川ダムが一斉に緊急放流とかなった際にどうなるのだろうかとか、そういったことを考えたら、どうしても私はダムの建設については反対したいと思います。

こういったことを実際検証されているのか、実際緊急放流したときの被害とか、そういったことについてもぜひ検証していただきたい。

この1ページのこの資料を見ますと、令和2年7月洪水の雨量の非常に青い濃いところは、ダムよりも下流なのです。ダムより下流のところではこれだけの雨が降って、こんな被害が上がっているわけなのです。だから、ダムが貯めた水で、こんなに被害がおさまったというのは、どうも私は不思議な感じがします。

先ほどもありましたけれども、八代の坂本の荒瀬ダムを撤去されて、川の生態系が非常によくなったというふうに話を聞いております。その上流の瀬戸石ダムを撤去するとまた川の流れもよくなるし、持続可能な、今、SDGs開発目標というので、世界的にそういった流れのなかに、ダムというのはそれに逆行するのではないかと私は思っております。

知事が決断されたダムに頼らない抜本的な治水対策、これを絶対に進めていただきたいと私は思っております。以上です。

【発言者⑳】

〇〇といいます。今回被災された方の生活支援、早急に取り組んでいただきまして本当にありがとうございます。まだまだ被災者の方、避難所、また仮設住宅に入っておられますので、着の身着のままの方がおられます。

今後も、季節に沿って支援していただければというふうに思います。今回、初めてこういう場に参加させていただきましたけれども、今に至ってダム建設の問題が出てきておりますけれども、人間、自然をコントロールすることはできません。ダムがあったらどれだけ防げるか、なかったらどういう状態になるかというのは、今回、非常に検証されたものだと思います。

国のほうにおきましては、国土強靱化計画ということで、昨年から来年まで、河川敷の樹木等の伐採、また河床の掘削等されておりますけれども、今回、この人吉球磨の被害が甚大だったのは、球磨川の水量があまりにも多すぎた。その球磨川の水量というのが、国土強靱化のために、本当によかったんで

すよ、ただ、非常に球磨川の流が速くなったものですから、球磨川以外の支流の流れが堰き止められて、浸水を受けたというふうに私は思っております。

万江川もそうだし、川辺川もそうです。球磨川の水位があまりにも多かったために、支流の川の水が球磨川に流れ込むことができなかつたと。球磨川の水が大量であったということもそうなのですから、球磨村以下の川幅が、もともと変わってないんですよ。上のほうは球磨村以上は、川の流れを速くするためには、国土強靱化のために河川内の樹木を伐採されて、非常に川の流れが速くなって、球磨村以下の川幅によって堰き止められたというふうに私は思っております。そのために特に球磨村、また人吉のほうは甚大な水害にあったというふうに思っております。

これからの復興ですけれども、球磨村のほうでは昨年まで民家のかさ上げをして、住宅を造られてこられた。それでも被害を受けられたということで、実証されてますので、今後、水害に遭われて流出された民家、または水没に遭われた人家をどのように復旧していくのかということ、ちょっと私のほうでは考えられません。

2、3メートルかさ上げして造ったとしても、今回以上の降雨量が発生しないとも限りません。世界的な環境破壊をしていますので、どのような洪水が発生するかわかりませんが、これは大体地震についてもそうなのですから、大体100年に一度とか60年に一度とか、150年おきに起きていたという、歴史をやはり振り返って、大体どのくらいまでの洪水被害があったのかということ、ちょっと振り返ってみる必要もあるんじゃないか。それに基づいてこういう災害対策、また治水対策をされるべきではないかというふうに思います。

ダムをつくられたとしても、当然、60%ぐらいしか改善できなかったという検証がされてますので、あとの40%、どのくらいの河川氾濫が起きるか、そういったところもわかりませんので。

それと、ところどころで出てきましたけれども、防災行政無線、これは非常に当時は家のほうは全部窓を閉め切ってますので、先ほど説明があったように非常に聞き取りにくいということで、戸別受信機を付けていただければというふうに皆さん言っておられますので、今後の復旧対策としまして、すぐに避難できるように、連絡がつくような体制を市のほうにもお願いしてありますが、県のほうでも主導してやっていただければというふうに思っております。よろしく願いいたします。

【発言者⑭】

私は、これからちょっと下りました球磨村との境の下原田町瓜生田に住んでいました。私の家は今度の水害で、平屋なのですけれども、天井上までできました。屋根まで。今、現在30年住みました家を失っております。

私、今、こちらで家を探したのですけれどもなかったものですから、お隣のえびの市の市営住宅のほうに無料貸し出しがありましたから、そちらのほうに仮住まいをしております。

行政にお願いしたいことは、今度の水害がこれほどまでの大惨事になったのが、私自身何が原因だったのか、被災者としてまだ理解しておりません。おっしゃったように、球磨川が非常に水はけが悪かったように思う。確かに異常気象で、線状降水帯でものすごく降ったということはもちろんわかっております。それを前提にしても、中流域、坂本のほうからすごく降り出して、そして球磨村、人吉、こういうふうになってきたように、あとで読んでみますとわかるんです。そして球磨川の水がはけなくて、各支流が逆流するようなかたちで浸水が一気に。

私自身は、先ほどの市長の声はぜんぜん聞こえませんでした。雨戸もしてちょうど休んでいるところですし、雨音もありますので、自分でなぜか5時過ぎに目が覚めたものですから、外に出て確かめたときに、下の道路からうちの敷地は1.5メートルくらいあるのですけれども、今まで30年間上がってきたことのなかった下の道までも、1回も上がったことのなかった水が、敷地の近くまで上がってきていました。敷地にはまだ入ってませんでした。これは逃げておいた方がいいなということで、5時過ぎでしたので、白みかかって、明るくなっていたので。219号は車では逃げられませんでした。車の方向の道は浸かってましたから。だから私は歩いて、219号をこちらに登ってきて上がってくると、少し上にあがりますから、ジョイフルが開いてましたのでそこで休息をして、のんきにしばらくして帰ればいだろうと思って。数時間後、雨がやんで行ってみたら、もう屋根までなんです。この急激な水のかさはびっくりしました。

そして、人吉全体の大変な被災をテレビ等でみまして、今度の水害がひどいことだったんだと認識したのです。それで今資料を出していただいているのですけれども、私はもっとどこでどういうふうに降って、何が足りなかったのか。例えば、ダムの問題もありました。

市房ダムも相当土が溜まっていて、あまり保水力がないと。それから下のほうの瀬戸石ダムもそうです。それが何十年も経っています。耐用年数も経っているような、そういうダムが果たした役割はどうだったのか。それからダムによらない治水ということで、最近この何年間かは、私の家の近くの対岸は、大

柿地区ですけれども、大柿の手前の川床の土はだいぶ運ばれました。とられました。トラック何台も来て。あれがもう十年くらいになるでしょうか。あのあとは非常によくなったんです。

うちの家は球磨川から2、30メートルしか離れてないところなのですがけれども、水路がありまして逆流してきよったんです。上まで上がらないけれども、水路はいっぱい、いっぱいになっていました。ところが大柿の土砂をとったあとは、それさえもなくなったのです。

だから、ちょっとした先ほどから出てます土砂が相当、ダムに頼るということがずっとあっていたものですから、遅れ遅れになっているのではないかと思うのです。だから、やっと緒について大柿地区の土砂をとったり、橋の近くの第一索道を、中心街の。あそこのところも取り払われたのですけれども、そういうのはじまったばかりのときのこの惨事なんですね。

だからそういうふうになんか何が足りなくて、治水として何が足りなくて、こういうことになったのか。じゃあ何をまずやらなきゃいけないのか。単純にダムありきではないと思います。

もう盛んにダムだ、ダムだといっている声が聞こえているんですけども、今回は相良の方はさほど降っていないんです。だからあそこにダムが仮にあったとして、止めたとしても、今回の災害は防げなかったと思いますし、全国的にみるとダムのために逆に洪水になったところもいくつも報告があります。だから私がお願いしたいことは、細かくちゃんと何が原因でこういう惨事になったのかをいろんな角度から専門家を集めてください。

こういうふうな有識者会議ではなくて、専門家の先生方を何人も集めて検証委員会をつくって、そしてきちっと何が原因でこうなったのか、どういう対策を取ればいいのかを示してほしいと思います。私は被災者としてそれを知りたいです。そして人吉球磨に仕事で私、40年前に来たんですけれども、ここの歴史、文化、自然が大好きでここに家を建てて住んでおります。また戻ってきたいと考えております。

この大好きな人吉が、早く復興するように、本当に町中を通りながら、自分自身も被災者なんですけれども、哀れに、本当に悲しくなります。だから早く復興できるように、抜本的なところから取り組んでください。治水は政治の要です。住民の命と暮らし、財産を守る、これは政治の一番、要だと思います。だから本当にただ急ぐのではなくて、筋道を立てて、そしてどうすればいいのかをしっかりと出して、やってほしいと切に思います。よろしく願いいたします。

【発言者②】

私は、大柿町内の〇〇と言います。今度、人吉市内では、大柿町内が一番被害が大きかったのではないかなということで考えております。今日は呼ばれてなかったのですが、知事が来られるということで、県のほうに電話をいたしまして、ぜひ参加させてくださいということで意見を述べさせていただきたいと思っております。

40年の水害のときに、私は高校一年生でありました。そのときに私の爺さんが4時ごろ、「早く起きれ」と起こされたんです。そのとき爺さんが68ぐらいだったと思います。俺が生きているうちで、一番大きな水、はじめての水だということを言われました。昔はダムも全然なかったし、魚もいっぱいいたし、非常にきれいな水でございました。私がまだ小学生時代のときは、天狗橋が吊り橋でございました。それで天狗橋の上から見て、魚が泳いでいるのが全て見えていたんです。そういうふうな状態でございました。

それから中学生か小学生ぐらいだったですか。市房ダムができるようになりまして、市房ダムができた関係でこういうふうな大きな水が出たんだということで、私もその経験をいたしております。非常に、あのときは操作ミスです。はっきり言いまして、ものすごく早い時間で増えてきました。

その当時、さっきも写真がありましたように、旧天狗橋です。吊り橋、その近くに5軒ほどあったんですよ。いかに昔、上から降った自然の水がそのまま流れていたのか、そういうふうなことで被害がなかったのではないかと私は思っております。

今、河川掘削が一番大事なことだと思います。堤防のかさ上げ、これも早急にしてもらいたいと。ダムは要らないと思います。仮に、今度大きなダムができて一時的に貯めて、そしてまた出すということになりますと、これは人吉だけではなくて八代が甚大な被害を受けると思います。

それで今のダムが多目的ダムなんですね。結局、ダムは常に空のような状態にしてもらえばいいのです。今も。ただ、農業用水で確保されるだけの水を利用する。その他には、水は貯めないと。

どこの市町村も同じだろうと思っておりますけれども、私は被災者なのですが、人吉から上の市町村長、ダム賛成派なんです。全然今まで被害を受けたことのない方たちがダム賛成なのです。私たちは実際に被害を受けててもダム反対なんですよ。なんでかといいますと、自然に降った水は自然に流すと、これが一番だと思っております。

今、インターネットで見えますけれども、中国にダムがあります。あれも非常に危ないような状況ということで出てましたけれども、もしもあれが人間が

造った代物はいつか壊れるんですよ。もしも壊れた場合には、何千万人という方が中国では犠牲になられたかと思います。

ダムは絶対ないほうがいいんです。知事が荒瀬ダムの撤去をしてもらったのは非常にありがたいと私は思います。人吉の住民でありながらです。先ほども神瀬地区の、私は出身は万江ですということで、ちょっと今会ってきたのですが、ぜひダムは撤去してくださいということをお願いをしてくださいと。

私が今、2、3日前に元の家に戻ったところが、瀬戸石ダムの道もずれてちょっと通れないような状況だろうということをお願いをしました。自分が小さいときからちょっと降ればダムが邪魔して、常に水が上がってきているというような状況を話されました。

今度の場合もダムを、これを全開しても、流木がダムにかなり引っかかったそうです。それで一気に神瀬地区は水が上がったと。それでダムを撤去してくださいというふうな話を聞いております。

ダムができていいことはないと思います。これは日本の三急流の一つで、また川辺川は日本一の清流なんです。これが死んでしまいます。

私は小さいときから川が好きで趣味で漁をしております。今現在も。それで球磨川のほうはまだ今のところはいいのですが、6月以降、錦町、あれから上の球磨川にいきますと、球磨川自体が臭うんですよ。水が死んでいるんです。もしもそういうことでダムができますと、この球磨川は死んでしまうと思います。それでももちろん観光面ではラフティングとか、球磨川下りがありますけれども、臭う川には来ないんですよ、誰も。

ダムは絶対に反対です。日本全国でどこにもダムがあると思いますけれども、今一つだけいえば、球磨川には市房ダムがありますけれども、もし大雨が降るということをキャッチをされれば、トップが既にその時点でダムは空にしておく。そういうふうな処置を取ってもらいたいと思います。

ぜひ住民の生命財産を守るためには、ダムは必要ありません。私に言わせてもらいますと。

それで今度、被災をそれぞれされましたけれども、農地関係もかなり傷んでおります。農業で食べられる方々も、今後生活は保障ができますかと話がありましたけれども、その保証はありませんというお話でありましたので、大柿のほうは非常に荒れています。それで私が考えているのは、2年か3年くらいは、農地が元に復旧するのはかかるのではないかなと現在は思っております。一日も早く、農地の復旧をしてもらって、元の生活ができるような方法を取ってもらえればと思いますので、知事のほうも先頭に立ってダムの反対のほうをよろしく願いたいと思います。

今まで全然関係なかった町村長がダム賛成というような馬鹿な話がありますので、そういうことはなさないで、よろしく願いしときます。以上です。

【発言者②⑥】

私も〇〇のすぐ近くに住んでおりまして、神奈川県から移ってきて5年目で、このありさまで。私は人間が造ったものはいずれ壊れるのだなと思います。私がいたところで、鮎の友釣りで有名な狩野川というのがあります。そこは一つもダムはありません。

ただ、台風で一度、被害を受けたことがありまして、そのあと堤防のかさ上げとかそういうものをして、非常に今、神奈川県地域では、鮎釣りのメッカとなっております。友釣りだけを許可しているような川です。

それで、復旧・復興プランの箇所ですけれども、原則とありますが、2番目、②です。「単に元に戻すだけではなく、創造的な復興を目指すこと」とありますが、これに付け加えてほしいのは、行政の縦割りだけではなく、スピーディに我々の被災者の安全、生活をできるような、素早いことをしていただきたいと思います。以上です。

(以 上)